



特定非営利活動法人
富山県防災士会 会報
(日本防災士会・富山県支部)

第 45 号

令和 8 年 7 月 1 日
発行 富山県防災士会
連絡先 090-3240-3821
(事務局長:小林格之)

令和 8 年度 理事長 ご挨拶

日頃の地域防災活動へのご尽力に心より感謝申し上げます。今年度の本会の重要テーマと今後の方向性についてご報告いたします。



● 広域避難体制への対応

能登半島地震を契機に、富山県では新たに「広域避難における受援体制の整備」が求められる段階に入りました。

● 財務基盤の強化 (会費見直しの検討)

現在約 300 万円の予算規模を支える受託収入は先行き不透明な状況です。今後の事業継続と展開のため、理事会にて「正会員の会費見直し」や「賛助会費収入の増額」を検討いたします。

● 設立 20 周年に向けて

来年 8 月に迎える発足 20 周年記念式典に向け、皆様のご意見をいただきながら新たな財政基盤での第一歩を踏み出したいと考えております。

地区防災計画策定支援

当会は、住民主体の「地区防災計画」策定を支援しています。令和 7 年度は 3 地区で策定が完了し、5 地区で支援を継続中です。

令和 8 年度は、能登半島地震の教訓をもとに行政等と連携し、以下を重点推進します。

● 実践的な活動支援

形骸化を防ぐ継続的な活動サポート

● モデル地区での伴走支援

訓練等を通じた地域特性に応じた計画策定

● 多様性の視点の導入

インクルーシブ防災や男女共同参画の反映

【会員の皆様へ】 計画策定には、地域に暮らす防災士の皆様の力が不可欠です。ご自身の地元で計画づくりの機運がございましたら、ぜひ事務局へ情報をお寄せください。ともに未来の富山を守る基盤を築きましょう。

令和 8 年度 富山県防災士会 活動方針

1. 令和 8 年度 事業計画 これまでの実績を礎に、行政や関係機関との連携を一層深め、男女共同参画の視点を取り入れた幅広い防災啓発活動を展開予定。地域防災力の向上と安全・安心な社会の実現を目的とし、以下の事業を重点的に推進します。防災意識の普及・啓発とまちづくり、災害支援:団体支援と講座の拡大、学校教育支援:組織運営と専門性の向上、基盤整備

2. 令和 8 年度 活動日程 年間を通じて、組織運営のための会議、会員の資質向上のための研修会、および地域行事への協力を計画

1) 総会・理事会等

○4 月 11 日第 1 回理事会、4 月 25 日入会会員向けオリエンテーション (Zoom)、5 月 23 日令和 8 年度通常総会 (婦中ふれあい館)

○奇数月 (一部を除く): 定期的に理事会を開催し、事業の進捗管理や研修の準備

2) スキルアップ研修会

○第 1 回 (6 月 13 日): 「防災ワクチン」講演

○第 2 回 (9 月 12 日): 「防災ライジング」
(クロスロード進化版の防災カードゲーム)

○第 3 回 (10 月 31 日実施予定)。

○12 月 5 日: 防災士研修会・懇親会開催

3) 部会・報告会

○10 月・1 月: インクルーシブ部会研修会

○1 月 30 日: 学校安全アドバイザー報告会

4) 広報

7 月、11 月、3 月会報発行 (第 45 号～47 号)

本年度は、組織の法人化 20 周年を見据えた準備体制づくりと、より実践的な防災活動定着を目指します。

防災士紹介 杉森 裕子

管理栄養士として防災研修は受けていましたが、能登半島地震の支援活動を機にスキルアップの必要性を感じ、昨年度防災士の資格を取得しました。

災害時の食支援や栄養管理は、高齢者や慢性疾患など食事に配慮が必要な方の重症化を防ぎ、心の安定や早期の生活復旧に不可欠です。全般的な支援はもちろんのこと、食支援への工夫していきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。



防災士フォローアップ研修 「防災ワクチン・一枚の写真 in 富山」

6 月 13 日、長岡技術科学大学の上村教授をお招きし、「防災ワクチン・一枚の写真 in 富山」を実施しました。実際の水害写真を基に様々な登場人物の立場を迫体験し、防災を「感情を伴う自分事」として考える実践的な訓練を行いました。



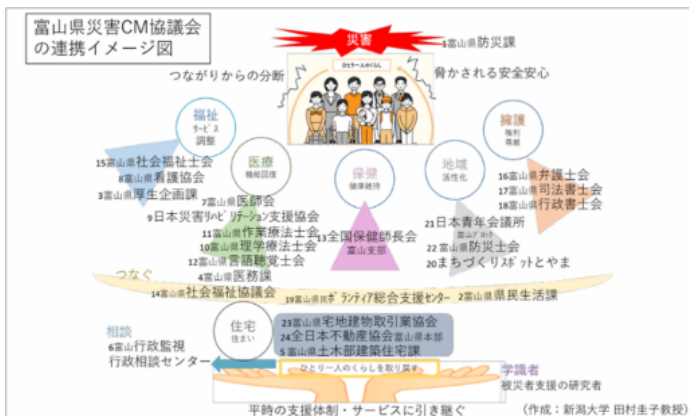
今回の研修は、今後の地域防災活動や防災啓発活動にも活用できる内容であり、県内一円での地域での防災活動の推進が期待されることです。

令和 8 年度 各市町村総合防災訓練（予定日順）

| 開催日 | 市町村 | 開催場所 |
|----------|----------------|---------------------------|
| 9/6（日） | 氷見市 | 窪小学校 |
| 9/13（日） | 魚津市 | 桃山運動公園 |
| 9/27（日） | 朝日町・高岡市 砺波市 | カリナ、東洋通信スポーツセンター 庄西中学校 |
| 10/4（日） | 南砺市 | 井波中学校 |
| 10/10（土） | 富山県・富山市 立山町 | アルペンスタジアム等 |
| 10/25（日） | 射水市 | 二口地区 |
| 11/1（日） | 滑川市・黒部市 入善町 | 西部小学校、若栗地区 桃李小学校 |
| 12/12（土） | 小矢部市 | 小矢部市民交流プラザ 体育館等 |

富山県災害ケースマネジメント協議会

令和 8 年 3 月に設立された本協議会に本会も参加しました。被災者の生活再建を支えるため、広域災害時の「避難所・ボラセン運営支援」や中間支援組織としての役割が期待されています。



https://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/case/r7_case_model.html
災害ケースマネジメント実施体制整備モデル事業(令和7年度)：防災情報のページ - 内閣府

富山県内における避難所開設と初動対応の現状

本会では、災害時における迅速な避難所開設と初動対応について、令和 8 年 3 月末現在での県内自治体の指定避難所における「スマートロック」および「初動ボックス」の設置状況と運用形態について調査を実施いたしました。

調査の結果、ICT を活用した自動化や地域住民による人的運用にはそれぞれ一長一短あることが浮き彫りとなりました。特に、通信障害時や担当者不在時でも確実にかつ迅速に避難所を開設するためには、カギやマニュアルを安全に保管・共有できる「初動ボックスの必要性」が改めて高く評価される結果となりました。

調査から得られた運用形態別のメリットと課題については以下のとおりです。

【運用形態別のメリットと課題】

| 運用形態 | メリット | リスク・課題 |
|-----------------------|----------------------------|---|
| システム 自動化・ ICT 型 | 夜間・休日でも 即時入所が 可能 | 通信障害や停電時の備 えが必要。手順書との セット運用が不可欠。 |
| 地域・人的 運用型 | 責任の所在が 明確で平時の 防犯性が高い | 担当者の被災や交通遮 断により、開設が大幅に 遅れるリスクがある。 |

「初動ボックス」の普及は重要であり避難者の入口です。

能登半島地震から学ぼう

あの日を忘れない。映像で学ぶ「あなたなら、どうする？」の答え。

令和 6 年 1 月 1 日午後 4 時 10 分、新年を迎えたばかりの北陸地方を突如激しい揺れが襲い、富山県では観測史上初となる震度 5 強を記録、県内各地で多くの被害を及ぼしました。また、備蓄不足、ハザードマップの未確認など、県内で防災への課題が浮き彫りに。起こりうる”次の地震”が来る前に「あなたなら、どうする？」。この地震を教訓に、「富山県が令和 6 年能登半島地震の教訓を踏まえた防災啓発用映像を作成しました。ぜひ、ご覧いただき、ご自身やご家族の災害対策にお役立てください。

・「アーカイブ映像（16 分程の映像）」から、次に私たちが「どうしなければならぬか」

・「アニメーション映像（9 分程度アニメ）」で、準備するための秘訣」が紹介されています。

なお、動画等は富山県の許可を得て、リンク URL 及び QR コードを掲載しています。

<https://www.pref.toyama.jp/1902/bousaikeihatuyoueizou.html>

